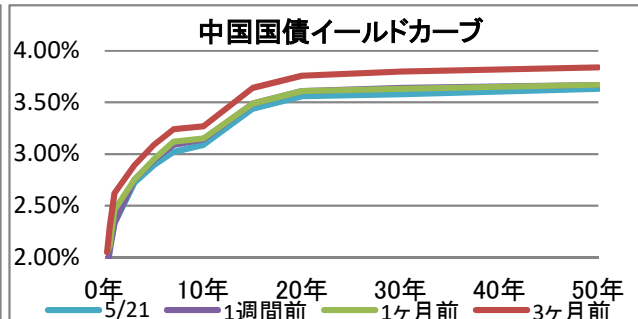
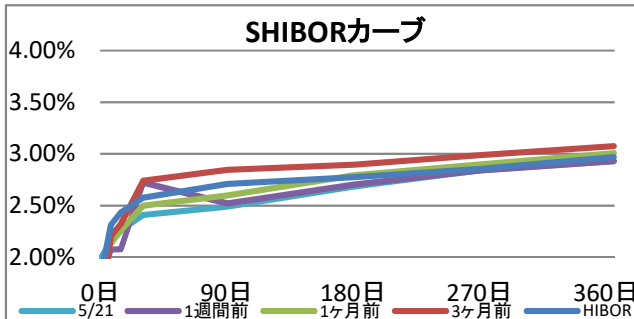


①市場概況

基準レート		2021/5/21	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.4300	-0.0225
	JPY/CNY	5.9075	0.0145
SHIBOR	3M	2.4890%	-0.0320%
国債利回り	10年	3.09%	-0.05%
上海総合指数		3,486.56	-3.82



(1) 概況

経済活動の正常化により欧米のPMIが記録的な高水準となる一方、米FRBのFOMC議事録で経済回復が続いた場合には資産買い入れペース見直し検討が適当との議論が明らかとなり、中東情勢改善期待から原油価格が下落に転じ、中国での規制強化が伝わり暗号資産価格が大幅下落する状況となり、金融市場はやや弱気の展開となった。

中国金融市場も世界的な経済活動再開による中国への依存度低下や欧州との関係悪化等への懸念に加え、経済回復ペースの鈍化を示す経済指標や国務院常務会での商品価格の不条理な上昇抑制に向けた需給管理強化表明等から国内経済過熱とインフレへの懸念がやや沈静化し、株式市場、外為市場等が小動きとなる中で債券利回りは9ヶ月ぶりの水準まで低下している。

中国証券監督管理委員会は、上海証券取引所等での公募不動産投資信託(REIT)9銘柄の上場を認可している。また、金融関連業界3団体による暗号資産取引関連業務禁止通知の発出が、世界的な暗号資産価格下落の一因となっている。

(2) 金融市場調節

リバースオペ期日600億元とMLF期日1,000億元に対し、中国人民銀行はリバースオペによる日々100億元の資金供給を継続し、MLFは同額同レートでロールオーバーし、新規に中央国庫銀行定期預金700億元(5/14に同額期日到来時には回収されていた)を実施し、差し引き600億元を供給している。

(3) 主な経済指標

・鉱工業生産(4月)は、前年比+9.8%(3月+14.1%)に鈍化しているものの高水準を維持している。産業用ロボットや通信機器に加え、インフラ関連資材の生産も活発な状況が続いている。

・小売売上高(4月)は、前年比+17.7%(3月+34.2%)にやや急速に鈍化している。外食の高い伸びが続き、物販では高額消費が活発しているものの、日用品や家電が伸びが低下していることから、やや停滞感が感じられる内容。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.9960%	1.9000%	2.0100%	
1W	2.1600%	3.9600%	2.7000%	1.9500%
2W	2.2600%	2.2600%	2.4000%	2.1200%
1M	2.4100%	6.5000%	8.0000%	2.1500%
3M	2.4890%	3.2000%	2.5300%	2.4200%
6M	2.6840%	3.0000%		2.5800%
9M	2.8430%	3.3500%		2.8100%
12M	2.9290%	3.8800%	3.4500%	2.8850%

中国人民銀行の市場調節に変化はなく、資金需給も概ね安定しているものの、足下の需給は納税期日もあって若干引き締まる一方、先行き不透明感から金融政策変更時期に対する見通しがやや後退しており、ターム物の金利水準は引き続き緩やかに低下している。ただし、ターム物の出合いは1ヶ月が2.30%を下回る水準に低下して取引されているのを除き限定的。

NCDも、6ヶ月を越える長めの期間を中心に引き続き活発に取引され、金利水準は低位で安定している。ターム物の金利水準は、1ヶ月が2.10%、3ヶ月物が2.40%、6ヶ月が2.60%、1年が2.90%を中心とする取引が続いている。

(2) 米ドル資金(本土内)

	BID	OFFER
ON	0.01%	0.02%
1W	0.02%	0.03%
1M	0.08%	0.10%
3M	0.20%	0.25%
6M	0.25%	0.30%
12M	0.45%	0.50%

資金需給状況に変化はなくターム物の金利水準は、1ヶ月は0.10%、3ヶ月は0.20%前後で取引されている。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.82%	1.98%	2.40%	2.56%	3.09%
6M	2.10%	2.23%	2.54%	2.71%	3.24%
1Y	2.33%	2.37%	2.83%	2.85%	3.42%
3Y	2.72%	2.97%	3.18%	3.34%	4.04%
5Y	2.89%	3.18%	3.47%	3.62%	4.41%
10Y	3.09%	3.41%	3.83%	3.95%	4.77%

債券市場では、短期資金市場での金利水準の低位安定と政府の物価安定に向けた対応への評価や国外からの投資資金流入により引き続き低下傾向を維持している。ただし、格下げや債務不履行への懸念から信用債利回りの低下は限定的となっている。

イールドカーブは、小幅に下方シフトしているものの形状に大きな変化はなく、クレジットスプレッドは国債利回りの低下により小幅ながら拡大に転じている。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	32.1 / 32.3
1M	129.8 / 130.0
3M	391.0 / 392.0
6M	789.0 / 790.0
9M	1188.0 / 1191.0
12M	1562.0 / 1564.0

対ドル基準レートは、6.4300と前週末比-225pipsのドル安元高、対円基準レートは5.9075と同+145pipsの円高元安と、ドル安傾向を映じた人民元高が続いている。国内市場では需給が均衡していることから、配当支払い向けのドル買い等によるドル高期待もあったものの、6.43を挟んだ狭いレンジ内での取引が続いている。

先物は、国外からの投資資金流入もあって週初には1年物が1600台に上昇して取引されていたものの、人民元金利の低下が続いていることからその後は1500台に低下して取引されている。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.29%		2.04%
6M	2.36%	2.61%	2.09%
9M	2.41%	2.72%	2.12%
1Y	2.46%	2.79%	2.16%
3Y	2.69%	3.11%	2.40%
5Y	2.85%	3.35%	
7Y	2.99%	3.53%	
10Y	3.15%	3.71%	

債券利回りの低下が続いていることから、スワップ金利も引き続き小幅ながら全体的に低下を続けている。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは、短期の国債利回りが下げ渋っていたことにより縮小していることを除き概ね変化はなかった。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。